

1. 件名：福島第一原子力発電所における使用済セシウム吸着装置（SARRY、KURION）からの吸着材採取に係る計画に関する面談
2. 日時：令和4年8月25日（木）10：30～12：35
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松田室長補佐、横山係長、塩唐松係員
高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当2名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、使用済セシウム吸着装置（SARRY、KURION）からの吸着材採取に係る計画について、以下の説明を受けた。
 - サンプリングを行う対象の吸着塔、選定した理由及び各線量率について。
 - 高性能多核種除去設備建屋内を採取場所として選定した理由、計画している作業場所の配置図及び高性能多核種除去設備への運転上の悪影響や波及的影響がないことについて。
 - 採取作業時のダストに対する防護対策について、HICスラリー移替え作業の実績からの知見に対する当該作業への反映について。
 - 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を伝えた。
 - 既設設備への波及的影響回避策について、基礎部分の転倒等に対する評価に限らず、吸着塔上部に取り付けられる作業ドック及び試料採取装置の転倒・落下等に対する評価についても記載すること。
 - HICスラリー移替え作業で発生しているトラブルについて水平展開するとともに、排気筒やSGTS配管の切断におけるトラブル等も参考に、幅広く想定した対策を講じること。
 - 今後実施するコールドモックアップ試験終了後に試験結果及び上記コメントに対する回答を面談にて説明すること。
 - 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。
6. その他
資料：【廃炉・汚染水・処理水対策事業】SARRY、KURIONからの吸着材採取について